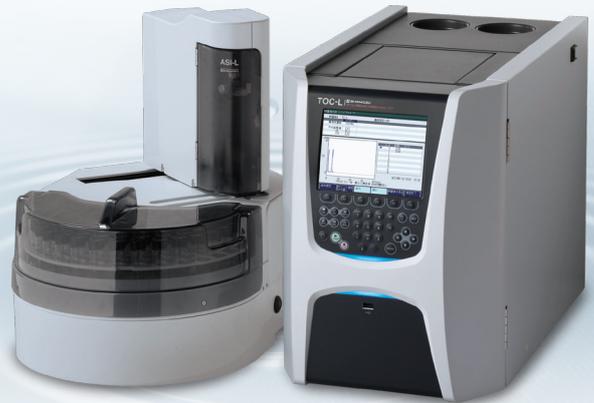


水道水質管理の『最適解』

# TOC-L series

島津の全有機体炭素計TOC-Lシリーズは、水道水質管理で広くお使いいただいている『島津燃烧酸化方式TOC計』TOC-5000/5000A、TOC-Vシリーズの後継機種です。



島津独自の『680℃ 燃烧触媒酸化』方式と燃烧制御システムにより、試料中の懸濁性有機物をも検出できる**強力な酸化分解能力**と、100 µg/Lを下回る水道水(地下水原水の場合など)も定量可能な**高感度**を両立。加えて、

『検査方法告示』(平成15年厚生労働省令告示261号)の改正(平成24年4月)で新たに要求された、

- 『オートサンプラを用いて10以上の試料の試験を連続的に実施する場合に講じる措置』の**“測定精度の管理と是正処置”**の自動実行による省力化 — PC制御モデル—
- 『全有機炭素標準液を段階的にメスフラスコ4個以上に採り、それぞれに精製水を加えて一定量にする。以下装置の補正方法に従い検量線に相当する補正を行う』で要求される**多点検量線が作成可能**、より水道水質管理に適したTOC計になっています。 — PC制御モデル、スタンドアロンモデル—

## TOC-Lシリーズの主な特長

- 4 µg/L～30,000 mg/Lの超ワイドレンジ。低濃度(100 µg/L以下)の水道水から、懸濁物質を含む河川水(原水)まで余裕をもって対応可能
- 多機能試料処理注入システムにより、無機体炭素の除去、希釈といった試料の前処理を環境から隔離したシリンジ内で行うことにより、環境からの汚染を防止  
また長期間にわたる安定した試料注入を可能にしています
- 省スペース、省エネ設計
- データ処理、自動実行機能が充実したPCモデルと、簡単かつ直感的な操作が可能なスタンドアロンモデルを用意
- アプリケーションをさらに広げる豊富なオプション類

## TOC-Lの主な向上ポイント(TOC-Vと比較して)

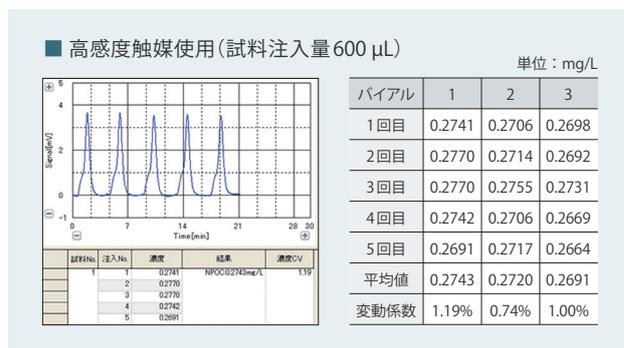
機種	TOC-VC	TOC-LC
測定範囲	4 µg/L ~ 25,000 mg/L (TC, NPOC)	4 µg/L ~ 30,000 mg/L (TC/NPOC)
LCD	モノクロ液晶	TFTカラー液晶
本体内存データ(スタンドアロンモデル)	200検体分の濃度平均値、25本分の検量線データを保存	2,000検体以上の、全ての測定結果とピークデータ、60本文の検量線データ。測定結果はUSBメモリへ出力してPCで編集/レポート作成、印字可能
印字	内蔵プリンタ(感熱式)	USB接続PC用プリンタ(別売)で普通紙に印字
PC接続仕様	RS232C	USB
キャリアガス異常検出	機能なし	機能有り
消費電力(週積算値) <sup>注)</sup>	約20,000 Wh	約12,700 Wh (36%削減)
外形寸法、質量	本体幅 約440 mm、重量約40 kg	本体幅 約340 mm、重量約35 kg

注)8時間稼働/日、5日間稼働/週の使用条件における、積算消費電力で比較。

標準試料のTOC測定例：水質基準の10分の1である0.3 mg/L 付近の濃度

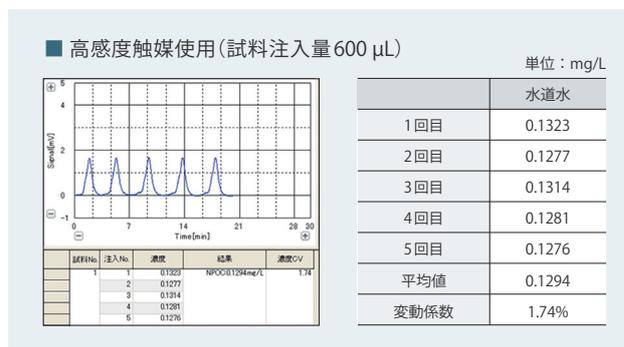
試験液を3つのバイアルに分取しそれぞれ繰返し5回測定。標準触媒（標準タイプ）で十分な測定精度が得られています。

※標準試料にはフタル酸水素カリウムを使用



水道水のTOC測定例

河川の伏流水を原水とした水道水を一般家庭で採取して測定。基準値の10分の1 (0.3 mg/L) を下回っていますが、良好な測定精度が得られています。



NEW

水道法水質基準項目や水質管理目標設定項目の金属類等の一斉分析が可能

- 業界初\*の分析メソッドの開発アシスタント・診断アシスタント機能を搭載
- 新開発のコリジョンセルにより高感度・低干渉を実現
- 独自開発システムにより、業界最高レベル\*の低ランニングコストを実現

新開発のコリジョンセル・内部機構の最適化により、多原子イオンの発生の抑制と原子イオンの透過率を向上させ高感度を実現しました。

※2016年2月 当社調べ



ICP質量分析計  
ICPMS-2030

本文書に記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。  
 なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。  
 本製品は、医薬品医療機器法に基づく医療機器として承認・認証等を受けておりません。  
 治療診断目的およびその手続き上での使用はできません。  
 トラブル解消のため補修用部品・消耗品は純正部品をご採用ください。  
 外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 島津製作所

分析計測事業部 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1  
<https://www.an.shimadzu.co.jp/>

東京支社 (官公庁担当) (03) 3219-5631 (大学担当) (03) 3219-5616 (会社担当) (03) 3219-5685	郡山営業所 (024) 939-3790 つくば支店 (官公庁・大学担当) (029) 851-8511 (会社担当) (029) 851-8515	静岡支店 (054) 285-0124 名古屋支店 (官公庁・大学担当) (052) 565-7521 (会社担当) (052) 565-7531	四国支店 (087) 823-6623 広島支店 (082) 236-9652 九州支店 (官公庁・大学担当) (092) 283-3332 (会社担当) (092) 283-3334
関西支社 (官公庁・大学担当) (06) 6373-6541 (会社担当) (06) 6373-6556	北関東支店 (官公庁・大学担当) (048) 646-0095 (会社担当) (048) 646-0081	京都支店 (官公庁・大学担当) (075) 823-1604 (会社担当) (075) 823-1603	
札幌支店 (011) 700-6605 東北支店 (022) 221-6231	横浜支店 (官公庁・大学担当) (045) 311-4106 (会社担当) (045) 311-4615	神戸支店 (078) 331-9665 岡山営業所 (086) 221-2511	島津コールセンター ☎ 0120-131691 (操作・分析に関する相談窓口) IP電話等：(075) 813-1691